

研究シーズ

岩手大学

シーズ名	岩手県産出の岩石粉末資材による、作物のカドミウム汚染土壌からの吸収の抑制	分類：10
所属 / 職 / 氏名	応用生物化学課程 / 教授 / 河合成直	
キーワード	宮守、カドミウム汚染土壌、作物栽培	
<p>どんな技術？</p> <p>一言アピール 現在、あまり報道されていないが、東北各地にあるカドミウム汚染地における作物栽培において、国際基準を超えないようカドミウムの吸収量を下げることがある。この岩石粉末は、そのための資材として有効である。</p> <p>【研究成果の内容】</p> <p>カンラン岩はマグネシウム、鉄などを含む火成岩であるが、建築資材作成の際に発生する粉塵を集めた粉末が、土壌改良資材として利用可能である。これを、そのまま、または、加熱処理した資材を土に施用し、作物の有害重金属の吸収を抑制する資材として商品化したい。現在、国際組織 WHO/FAO の Codex 委員会が、作物のカドミウム含量の基準の引き下げを検討中であり、わが国の農家が打撃を受ける可能性がある。特に野菜などにおいては、作物によっては、かなりカドミウム含量が高くなるものがある。現在、畑作物のカドミウム含量を抑制する技術の確立が望まれる。</p> <p>このカンラン岩粉末は土壌中で重金属を吸着し、植物による有害重金属の抑制に効果があることが明らかとなった。この資材が、植物のカドミウム吸収を抑制することを示す明確なデータが得られている。</p>		
<p>何に使えるの？</p> <p>作物のカドミウム吸収抑制資材、カドミウムの吸着資材</p>		
関連特許	なし	
関連資料等		